

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		乳幼児健康支援事業			担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	29323
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務			
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	母子保健法 深谷市乳幼児健康支援事業実施要綱 5 歳児健康診査実施要領			
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		乳幼児の健康の保持増進を図るため、発育発達の遅れや疾病を早期に発見し、治療や療育につなぐとともに、保護者の育児不安の軽減を図ることを目的に乳幼児健康診査、発育発達相談、家庭訪問などの事業を実施する。								
目的 ※何のために		乳幼児の健康の保持増進を図り、育児不安の軽減を図るため								
対象 ※誰・何を対象に		就学前の子どもとその保護者								
手段 ※どのように		各種健康診査、発育発達相談、親子教室等を実施する。								
成果 ※何を求めるか		乳幼児健康診査、発育発達相談、親子教室等を実施することにより、乳幼児期における発育発達異常や疾患の早期発見・療育、保護者の育児不安等の軽減に繋がる。								
執行体制		■ 職員 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 ■ その他(医師等)								
事務事業を構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額(円)
	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	母子保健費	乳幼児健康支援事業		25,291,542
本事業の 主な業務	・ 4 か月児健康診査					・ 乳幼児相談				
	・ 1 歳 6 か月児健康診査					・ 子育て応援教室				
	・ 3 歳児健康診査					・ 訪問指導				
	・ 5 歳児健康診査					・ 母子ケース検討会議				
	・ 親子教室					・				
	・ 発育発達相談					・				

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画			乳幼児身体発育調査(国の委託事業)		5歳児健康診査 屈折検査機器(スポットビジョン)の導入		
事業費	予算(現額)	22,812,000	22,651,000	23,665,000	31,625,000	29,489,000	
	決算額	18,822,317	19,441,346	21,675,836	25,291,542	0	
	財源内訳	国支出金	0	19,500	0	2,461,000	1,875,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	290	250	0	0
		一般財源	18,822,317	19,421,556	21,675,586	22,830,542	27,614,000
人件費	従事職員数(人)	6.11	6.11	6.11	5.71	5.71	
	人件費相当試算※	48,082,994	48,942,109	50,237,893	48,404,207	50,296,472	
	総事業費試算	66,905,311	68,383,455	71,913,729	73,695,749	79,785,472	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	乳幼児健診実施回数	目標値	回	108.00	108.00	108.00	108.00	108.00	108.00	
		実績値	108.00	108.00	108.00	122.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		適切な対象人数と実施時期に健診を実施するため、年108回を目標値として設定している/実施回数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	親子教室・発育発達相談事業 開催回数	目標値	回							
		実績値	131.00	124.00	118.00	130.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		発育発達に不安のある乳幼児に必要な相談の場であり、目標値の設定はできない / 実施回数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	相談事業来所者数	目標値	人							
		実績値	408.00	366.00	357.00	425.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		発育発達に不安のある乳幼児に必要な相談の場であり、目標値の設定はできない / 親子教室・発育発達相談等実績値							
	実績値の算出式									
成果指標 2	乳幼児健診の平均受診率	目標値	%	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00	
		実績値	97.30	97.30	97.70	97.30				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		受診率の向上を目指すため、目標値として設定している / 受診者数／（4か月、1歳6か月、3歳児健診）対象者数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	乳幼児健診後、要精密検査者 の受診率	目標値	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値	80.50	85.60	88.90	87.30				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		受診率の向上を目指すため、目標値として設定している / 要精密検査者の精検受診率（4か月、1歳6か月、3歳児健診）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和7年度より新たに5歳児健康診査を実施することができた。実施回数については、医師会のご協力を得たうえで、いままです実施している乳幼児健康診査の実施回数を見直し、14回の増加となった。 相談事業開催数は、5歳児健康診査の実施に伴い、相談者が増えることから、発育発達相談の回数を増やした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	相談事業来所者数は、5歳児健康診査の実施に伴い、相談者が増えた。発育発達相談を必要とする親子に対応することができた。 乳幼児健康診査受診率はほぼ横ばい、乳幼児健診後、要精密検査者の受診率は、前年度より減少したが、全体としては、やや向上している。
			評価者 保健指導第1係長 呉 明香 第2係長 小井土 和美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	5歳児健康診査は国のマニュアルで集団健診として実施することとなっていたが、健診回数が24回増加するため、協力いただける小児科医等への負担の集中が問題となっていた。そのため、いままです実施していた乳幼児健康診査全体（4か月、1歳6か月、3歳）を対象児数等に合わせ減らすことで実施回数を見直し、全体で14回の増加で調整でき、医師会の理解を得ることができた。すべての乳幼児健康診査を滞りなくスムーズに実施することができた。
			評価者 保健指導第1係長 呉 明香 第2係長 小井土 和美